

中小企業景況調査報告書

2026年 4月～6月期 実績

(2026年 7月～9月期 予測)

調査実施時点 : 2026年6月1日

京都府商工会連合会

《 目 次 》

1. 中小企業景況調査の概要	2 頁
2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】	3 ～ 4 頁
3. 各 業 種 の 景 況	
(1) 製造業の景況	5 ～ 6 頁
(2) 建設業の景況	7 ～ 8 頁
(3) 小売業の景況	9 ～ 10 頁
(4) サービス業の景況	11 ～ 12 頁

D・I とは (景気動向指数)

この報告書の中で用いている「**D・I 指数**」とは、ディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気の波及度合いを表す指標として、利用されています。

《算出方法》

前年同期に比べて、

$$\frac{\text{『増加』回答企業の割合}}{\text{(上昇・好転 等)}} - \frac{\text{『減少』回答企業の割合}}{\text{(低下・悪化 等)}} = \text{D・I}$$

D・I が、**プラス** (+) 値 強気 (楽観) を表す。

D・I が、**マイナス** (-) 値 弱気 (悲観) を表す。

例えば、売上が前年同期比で、

『増加』回答企業 50%、『不変』回答企業 30%、『減少』回答企業 20% の場合、

$$\text{D・I 指数は、} \quad 50\% - 20\% = 30\%$$

となり、経営者の売上に対する業況観が、強気気運であることを表しています。

1. 中 小 企 業 景 況 調 査 の 概 要

この調査は、商工会地域の産業の状況、地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速かつ的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするために、全国商工会連合会が実施する調査に連携し、府内の状況を取りまとめたものです。

調査要領、本年度の調査対象商工会及び、調査回答企業数・対象業種別構成の内訳は次のとおりです。

(1) 調査対象期間

2026年4月～6月期を対象とした。

調査実施時点 …… 6月1日(月)

調査期間 …… 5月21日(木) ～ 6月5日(金)

(2) 調査の方法

(イ) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。

(ロ) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、又、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

(3) 調査対象商工会

福知山市商工会、向日市商工会、長岡京市商工会、八幡市商工会
京田辺市商工会、京丹後市商工会、南丹市商工会、木津川市商工会
大山崎町商工会、久御山町商工会、井手町商工会、宇治田原町商工会
笠置町商工会、和束町商工会、精華町商工会、南山城村商工会
京北商工会、京丹波町商工会、伊根町商工会、与謝野町商工会

(計20商工会)

(4) 対象業種別構成 及び 回答企業数

業 種	調 査 対 象 企 業 数	構 成 比	回答企業数	回 答 率
製 造 業	36	20.0%	36	100.0%
建 設 業	24	13.3%	24	100.0%
小 売 業	53	29.5%	52	98.1%
サービス業	67	37.2%	67	100.0%
【 合 計 】	180	100%	179	99.4%

2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

<概要>

京都府内商工会地域の「売上指数」は全体DIが▲5.3となり、前期比で5.2ポイント改善したものの、業種間の差が大きい結果となった。建設業・サービス業の売上DIがプラスに転じた一方、製造業・小売業は需要停滞や購買流出により悪化した。採算面では全業種でマイナスが続き、材料費・仕入価格・人件費の上昇が収益を圧迫している。建設業とサービス業では採算改善がみられるものの、水準は依然低く、材料費・仕入価格の上昇が共通の課題となっている。売上の一部回復に対し、コスト高が収益改善を妨げる要因になっている。

<業種別売上指数>

- ①全 体：売上DIは▲5.3となり、前期の売上DI▲10.5と比べ+5.2ポイントの改善となった。
- ②製造業：売上DIは▲19.5となり、前期の売上DI▲8.3と比べ▲11.2ポイントの悪化となった。
- ③建設業：売上DIは8.3となり、前期の売上DI▲25.0と比べ+33.3ポイントの改善となった。
- ④小売業：売上DIは▲17.3となり、前期の売上DI▲5.8と比べ▲11.5ポイントの悪化となった。
- ⑤サービス業：売上DIは7.5となり、前期の売上DI▲2.9と比べ+10.4ポイントの改善となった。

<業種別採算指数>

- ①全 体：採算DIは▲24.8となり、前期の採算DI▲19.4と比べ▲5.4ポイントの悪化となった。
- ②製造業：採算DIは▲22.3となり、前期の採算DI▲8.4と比べ▲13.9ポイントの悪化となった。
- ③建設業：採算DIは▲29.2となり、前期の採算DI▲33.4と比べ+4.2ポイントの改善となった。
- ④小売業：採算DIは▲31.3となり、前期の採算DI▲13.4と比べ▲17.9ポイントの悪化となった。
- ⑤サービス業：採算DIは▲16.5となり、前期の採算DI▲22.4と比べ+5.9ポイントの改善となった。

<業種別経営上の問題点>

- ①製造業：「1位：原材料価格の上昇」「2位：需要の停滞」
「3位：生産設備の不足・老朽化」
- ②建設業：「1位：材料価格の上昇」及び「材料の入手難」「3位：官公需要の停滞」
- ③小売業：「1位：仕入単価の上昇」「2位：購買力の他地域への流出」及び「需要の停滞」
- ④サービス業：「1位：材料等仕入単価の上昇」「2位：人件費の増加」及び
「従業員の確保難」

業種別景況指標

(景気の天気図)

※天気図は売上DI

	R7年				R8年		
	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月(見通)
製造業							
建設業							
小売業							
サービス業							

天気図のよみ方

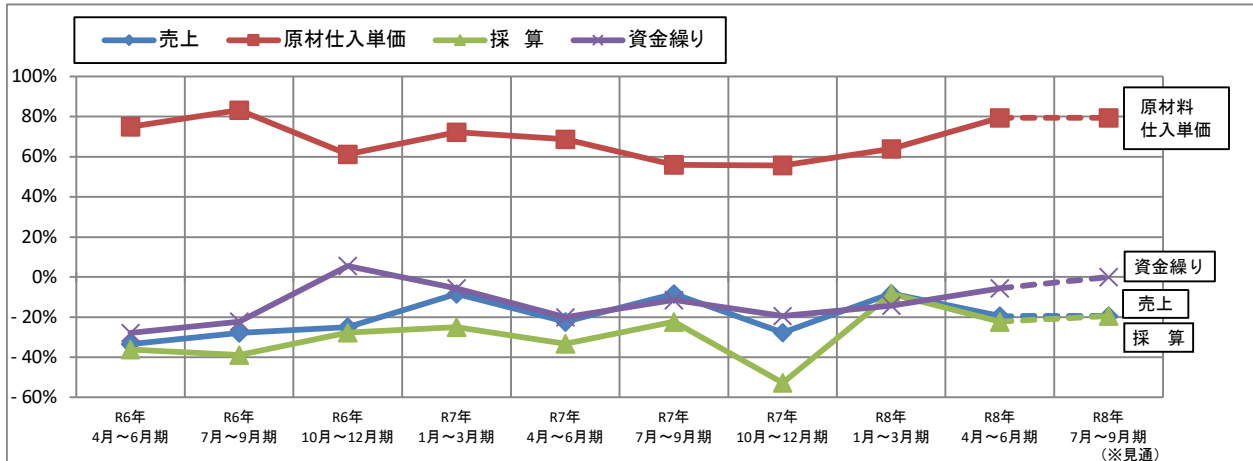
D・I	100.0 ～50.1	50.0 ～25.1	25.0 ～0.1	0.0 ～▲25.0	▲25.1 ～▲50.0	▲50.1 ～▲100.0
指 標						
内 容	特に好転	好 転	やや好転	やや悪化	悪 化	特に悪化

3. 各業種の景況

(1) 製造業

① 製造業 D・I 値（景気動向指数）の推移 — 前年同期比 —

製 造 業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	来期予測
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	R8年 7月～9月期
売 上	▲ 22.3%	▲ 8.4%	▲ 27.7%	▲ 8.3%	▲ 19.5%	▲ 19.4%
原材仕入単価	68.6%	55.9%	55.6%	63.9%	79.4%	79.4%
採 算	▲ 33.3%	▲ 22.3%	▲ 52.7%	▲ 8.4%	▲ 22.3%	▲ 19.4%
資 金 繰 り	▲ 20.0%	▲ 11.4%	▲ 19.4%	▲ 14.3%	▲ 5.6%	0.0%



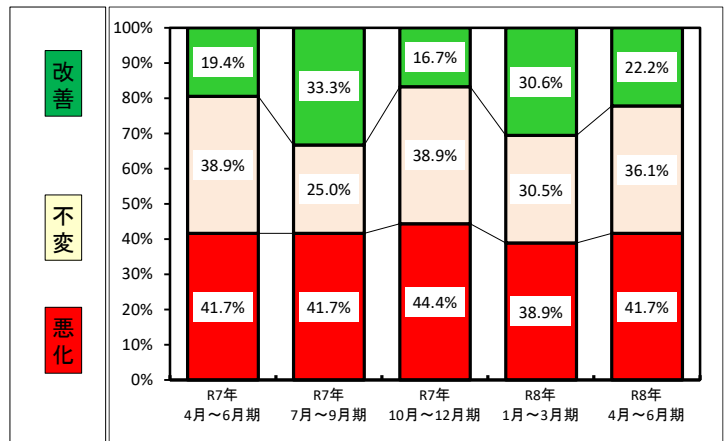
売 上 …… ▲ 19.5 ポイント
(前期比 11.2 ポイント悪化)

仕入単価 …… 79.4 ポイント
(前期比 15.5 ポイント悪化)

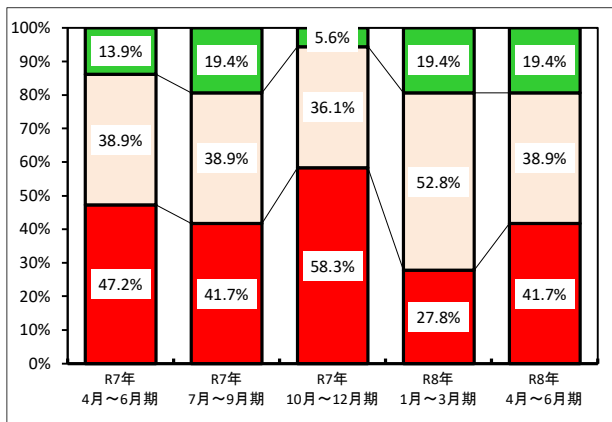
採 算 …… ▲ 22.3 ポイント
(前期比 13.9 ポイント悪化)

資金繰り …… ▲ 5.6 ポイント
(前期比 8.7 ポイント改善)

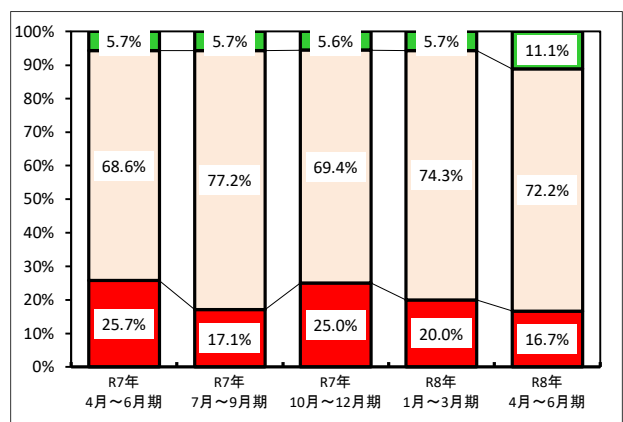
※『売上(加工)』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



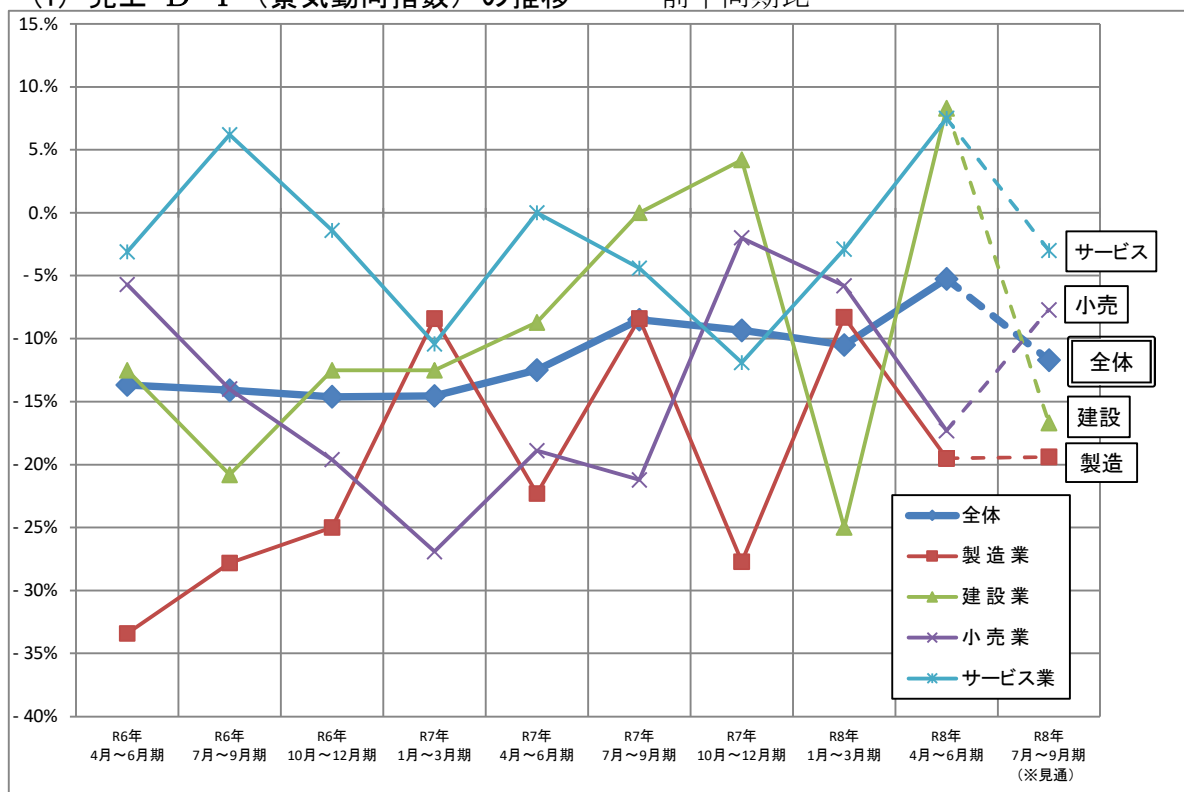
※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



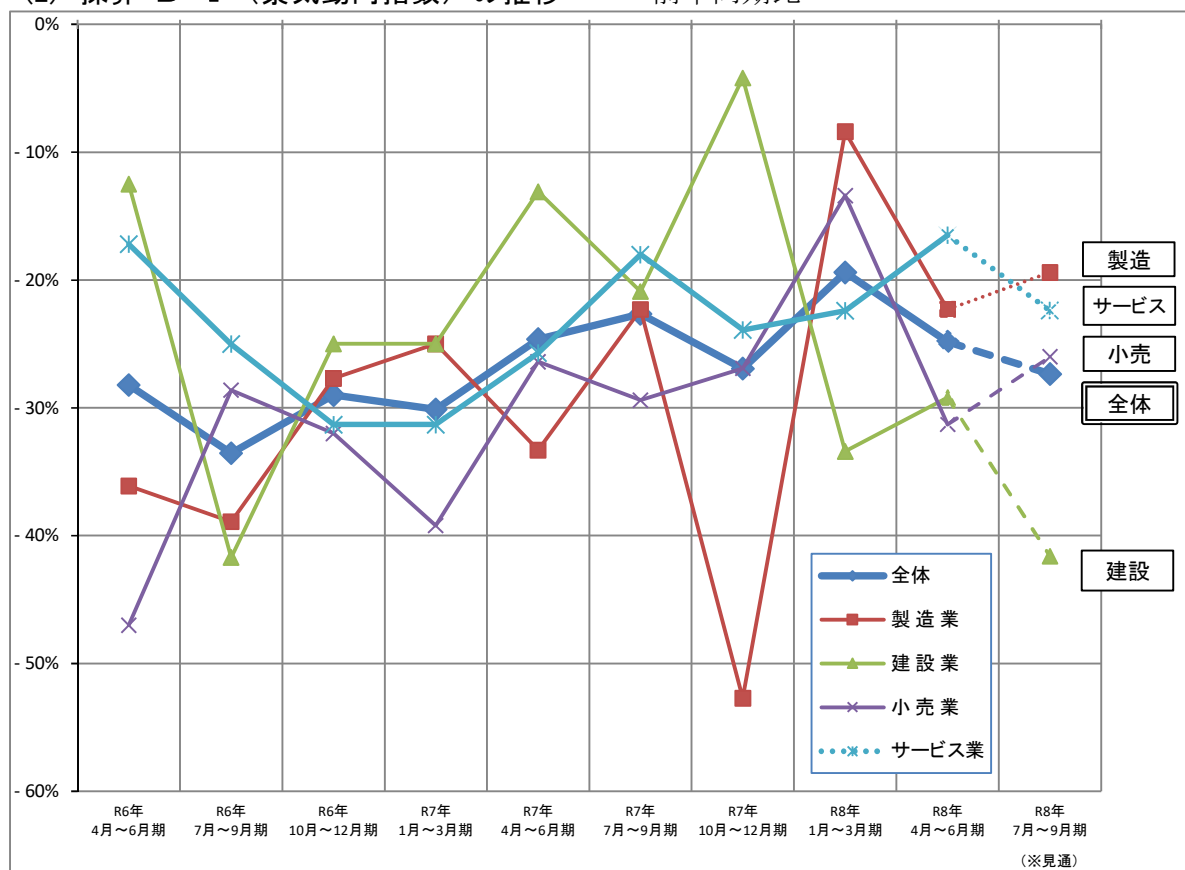
2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

《売上と採算の推移》

(1) 売上 D・I（景気動向指数）の推移 —前年同期比—



(2) 採算 D・I（景気動向指数）の推移 —前年同期比—



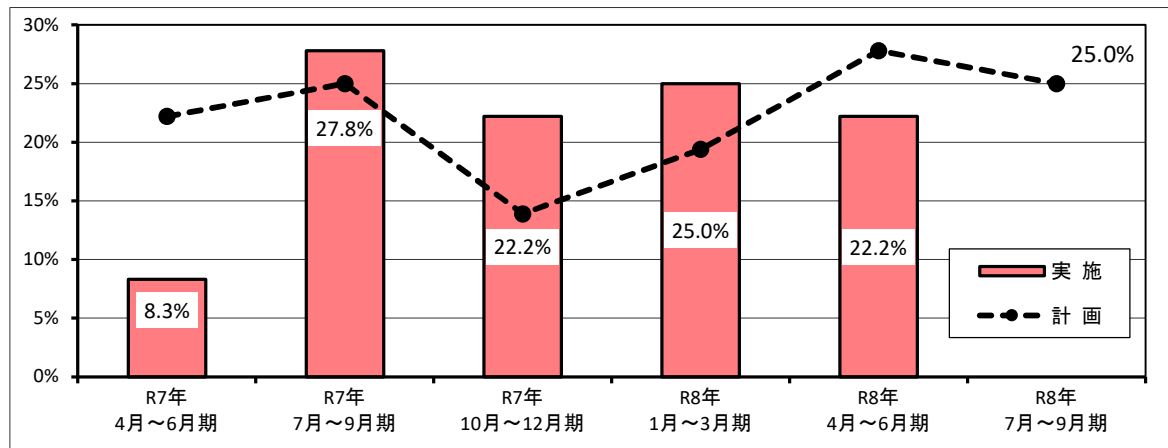
3. 各業種の景況

(1) 製造業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は22.2%（前期比2.8ポイントの減少）であった。

製造業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	(計画) R8年
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期
土地	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
車両・運搬具	0.0%	50.0%	37.5%	33.3%	25.0%	0.0%
生産設備	33.3%	30.0%	50.0%	44.4%	25.0%	100.0%
設備投資の実施	8.3%	27.8%	22.2%	25.0%	22.2%	25.0%

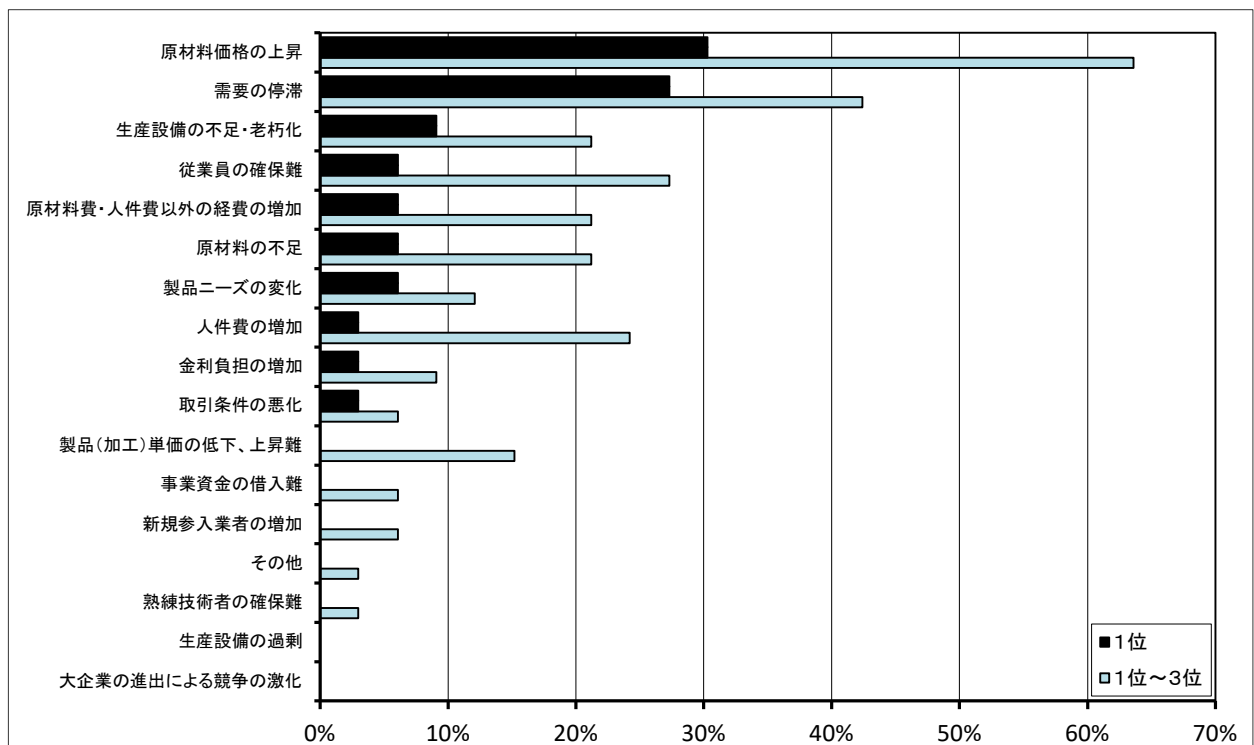


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「原材料価格の上昇」「需要の停滞」「生産設備の不足・老朽化」等が上位となった。

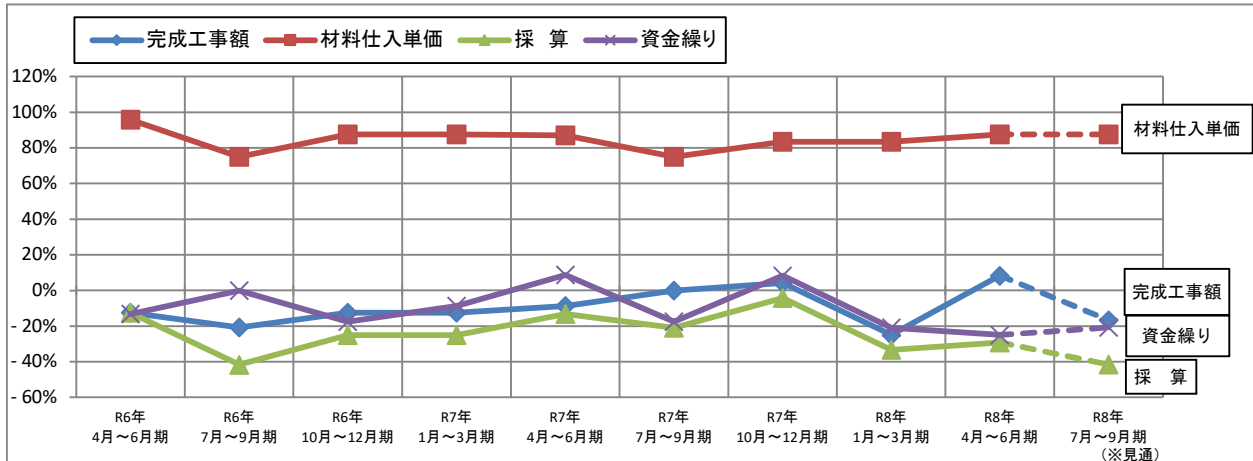


3. 各業種の景況

(2) 建設業

① 建設業 D・I 値（景気動向指数）の推移 — 前年同期比 —

建設業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	来期予測
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	R8年 7月～9月期
完成工事額	▲ 8.7%	0.0%	4.2%	▲ 25.0%	8.3%	▲ 16.7%
材料仕入単価	87.0%	75.0%	83.3%	83.3%	87.5%	87.5%
採 算	▲ 13.1%	▲ 20.9%	▲ 4.2%	▲ 33.4%	▲ 29.2%	▲ 41.6%
資金繰り	8.7%	▲ 17.4%	8.3%	▲ 20.9%	▲ 25.0%	▲ 20.8%



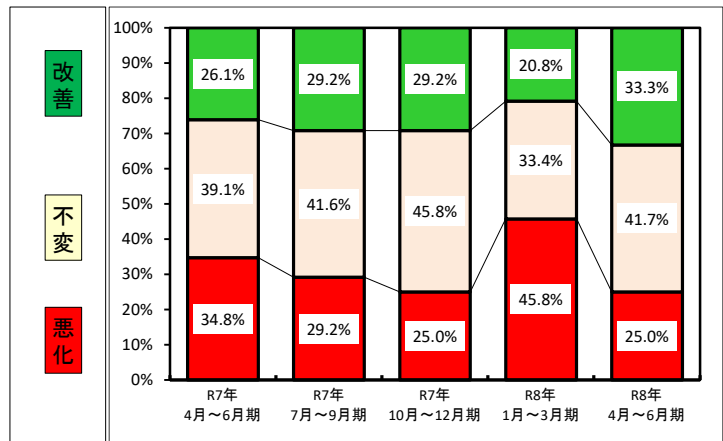
完成工事額・・・ 8.3 ポイント
(前期比 33.3 ポイント改善)

仕入単価・・・ 87.5 ポイント
(前期比 4.2 ポイント悪化)

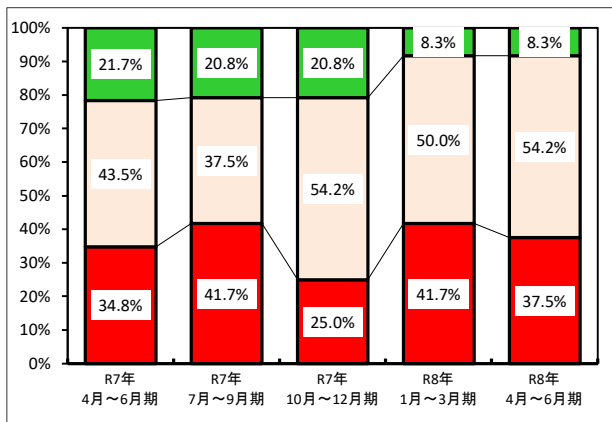
採 算・・・ ▲ 29.2 ポイント
(前期比 4.2 ポイント改善)

資金繰り・・・ ▲ 25.0 ポイント
(前期比 4.1 ポイント悪化)

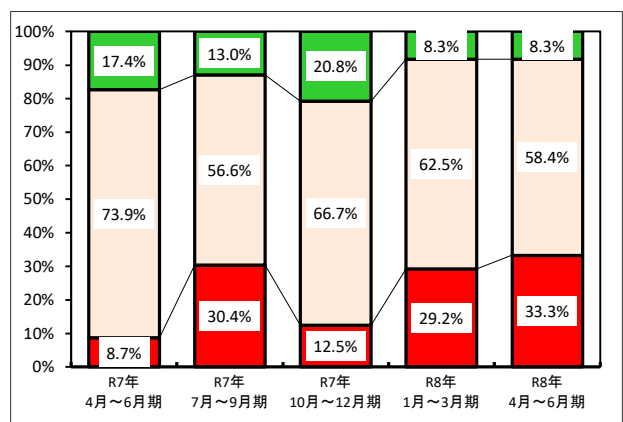
※『完成工事額』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



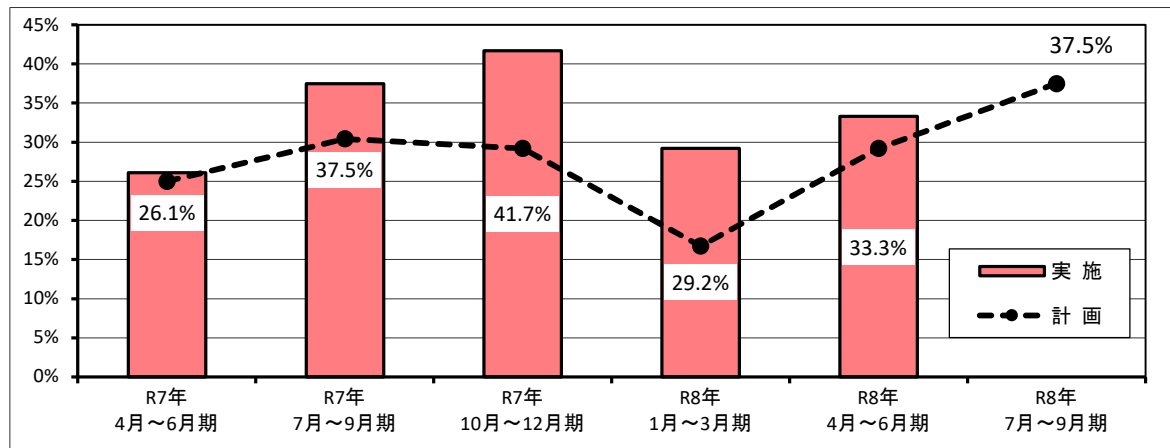
3. 各業種の景況

(2) 建設業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は33.3%（前期比4.1ポイントの増加）であった。

建設業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	(計画) R8年
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期
土地	0.0%	11.1%	30.0%	0.0%	12.5%	11.1%
車両・運搬具	66.7%	55.6%	60.0%	57.1%	37.5%	33.3%
建設機械	0.0%	33.3%	50.0%	28.6%	25.0%	33.3%
設備投資の実施	26.1%	37.5%	41.7%	29.2%	33.3%	37.5%

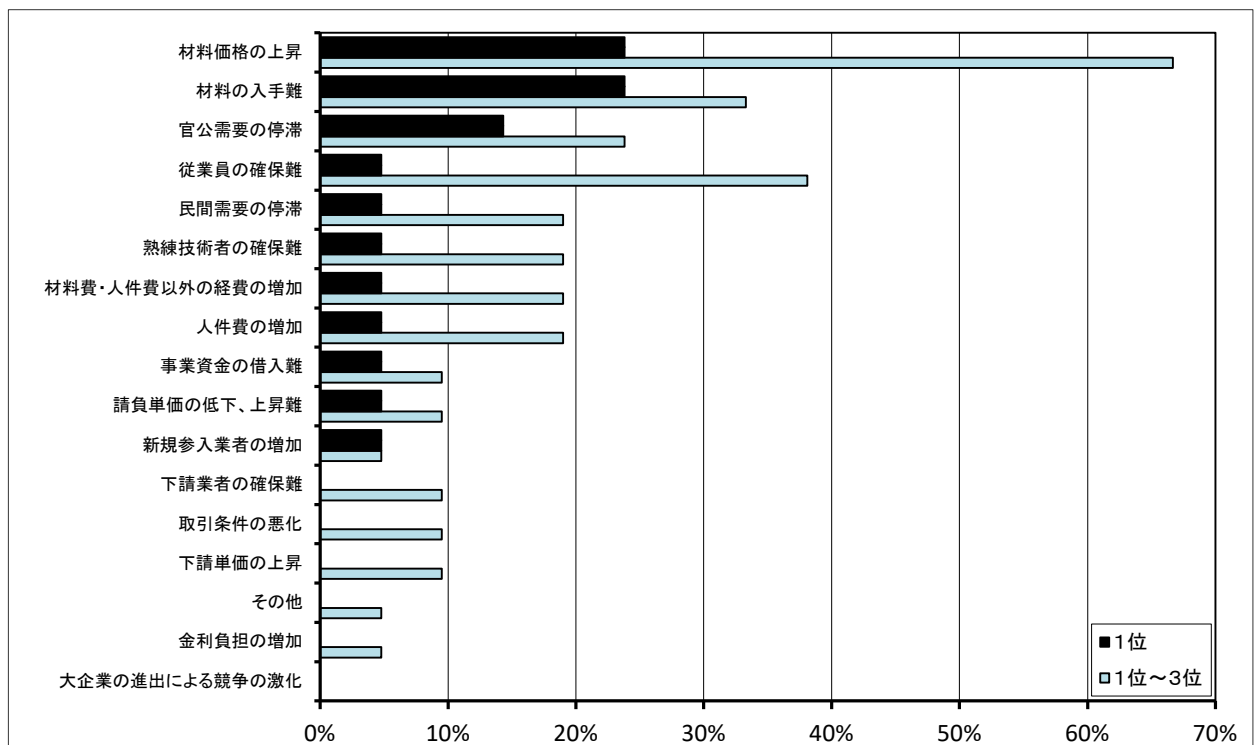


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料価格の上昇」「材料の入手難」「官公需要の停滞」等が上位となった。

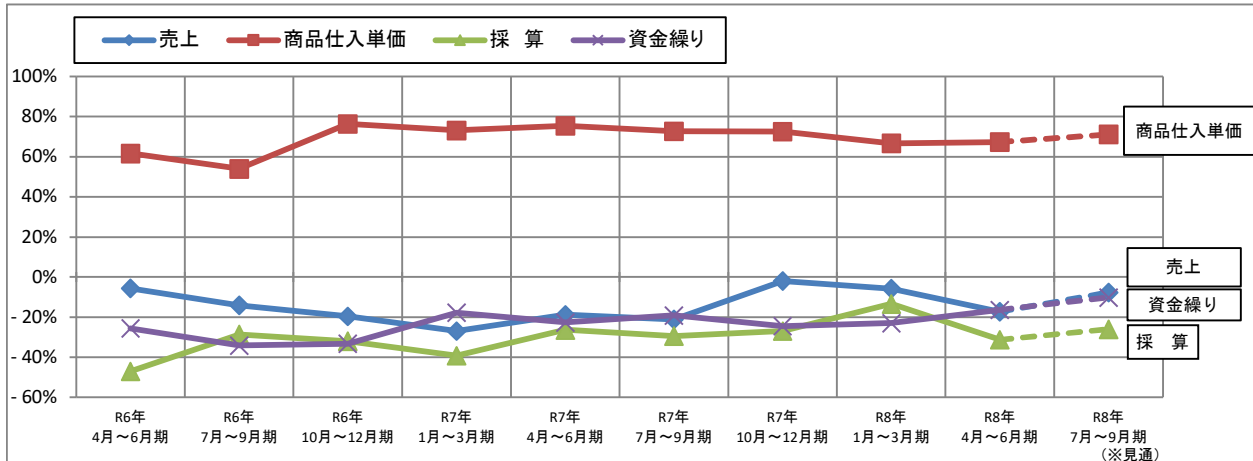


3. 各業種の景況

(3) 小売業

① 小売業 D・I 値（景気動向指数）の推移 — 前年同期比 —

小売業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	来期予測
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	R8年 7月～9月期
売上	▲ 18.9%	▲ 21.2%	▲ 2.0%	▲ 5.8%	▲ 17.3%	▲ 7.7%
商品仕入単価	75.4%	72.6%	72.5%	66.7%	67.3%	71.1%
採算	▲ 26.4%	▲ 29.4%	▲ 26.9%	▲ 13.4%	▲ 31.3%	▲ 26.0%
資金繰り	▲ 22.6%	▲ 19.2%	▲ 24.5%	▲ 22.9%	▲ 16.3%	▲ 10.2%



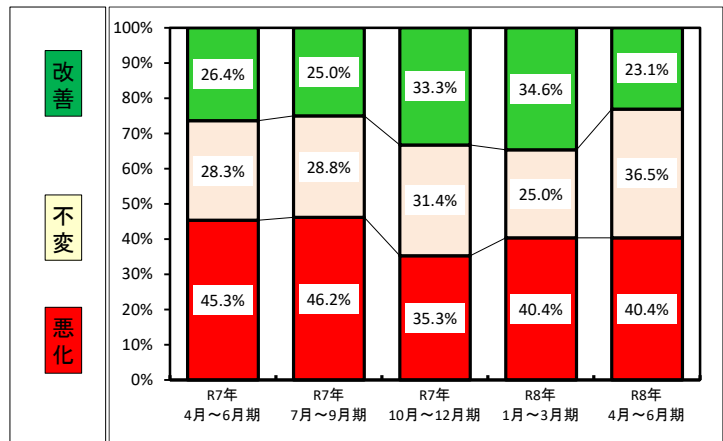
売上 …… ▲ 17.3 ポイント
(前期比 11.5 ポイント悪化)

仕入単価 …… 67.3 ポイント
(前期比 0.6 ポイント悪化)

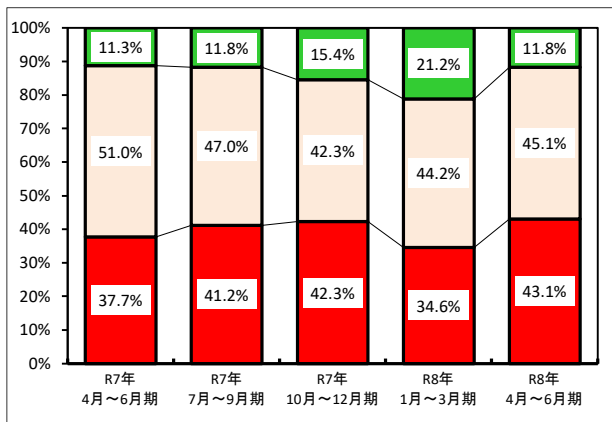
採算 …… ▲ 31.3 ポイント
(前期比 17.9 ポイント悪化)

資金繰り …… ▲ 16.3 ポイント
(前期比 6.6 ポイント改善)

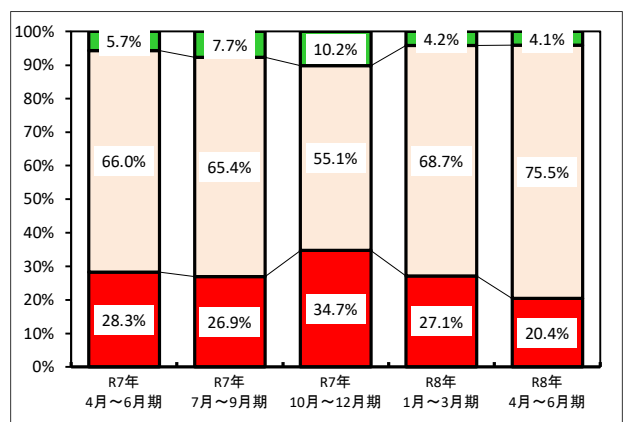
※『売上』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



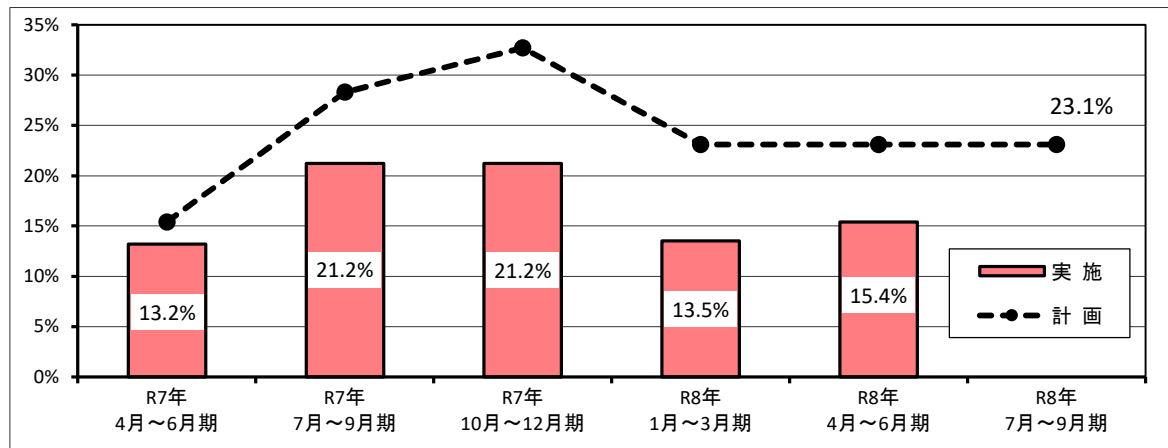
3. 各業種の景況

(3) 小売業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は15.4%（前期比1.9ポイントの増加）であった。

小 売 業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	(計画) R8年
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期
土 地	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	12.5%	8.3%
車両・運搬具	14.3%	18.2%	9.1%	57.1%	12.5%	16.7%
販売設備	71.4%	45.5%	36.4%	57.1%	50.0%	33.3%
設備投資の実施	13.2%	21.2%	21.2%	13.5%	15.4%	23.1%

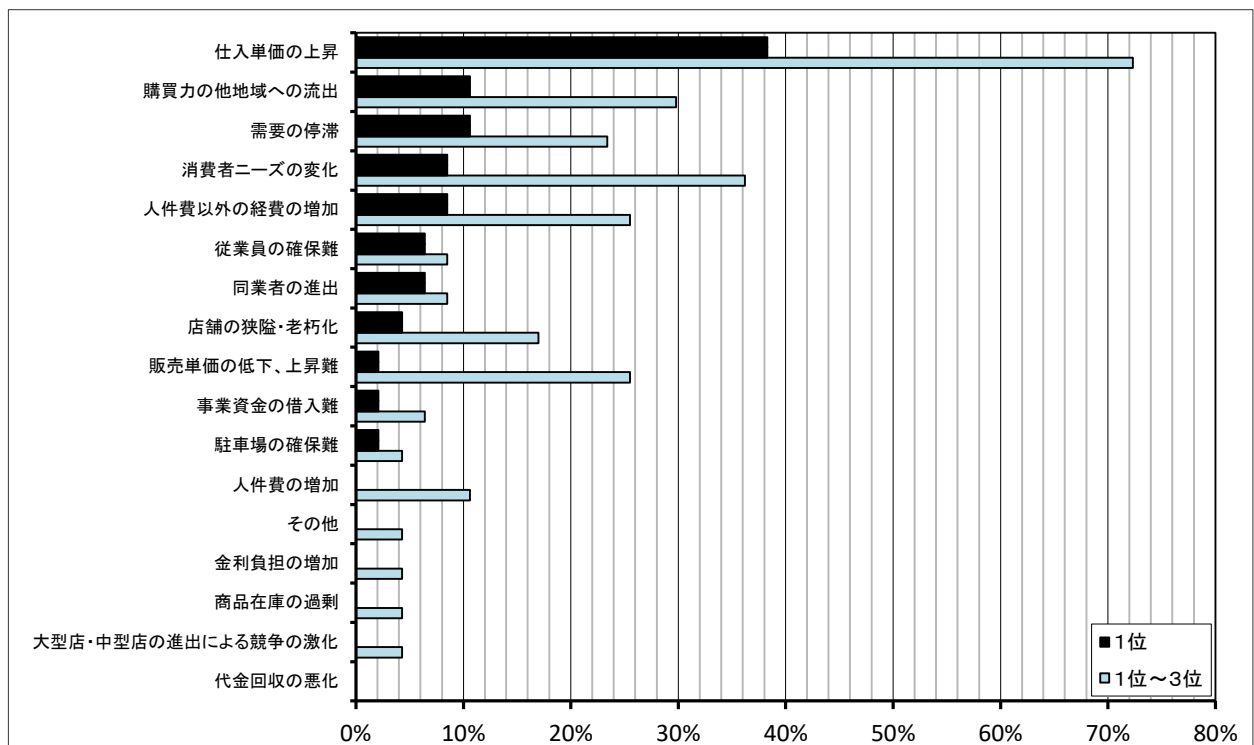


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「仕入単価の上昇」「購買力の他地域への流出」「需要の停滞」が上位となった。

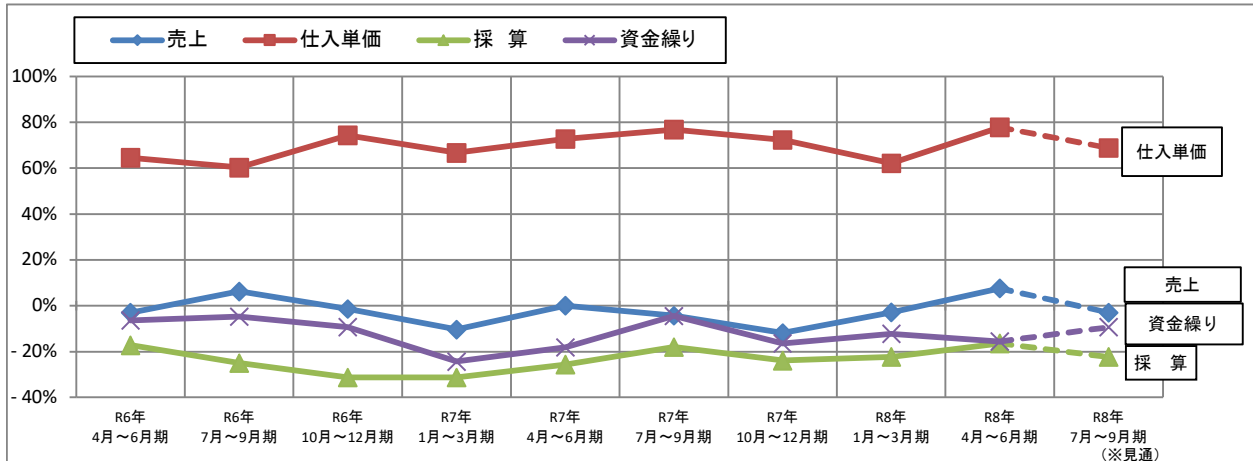


3. 各業種の景況

(4) サービス業

① サービス業 D・I 値（景気動向指数）の推移 ー前年同期比ー

サービス業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	来期予測
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	R8年 7月～9月期
売上	0.0%	▲ 4.4%	▲ 11.9%	▲ 2.9%	7.5%	▲ 3.0%
仕入単価	72.7%	76.9%	72.3%	62.1%	77.8%	68.8%
採算	▲ 25.7%	▲ 18.0%	▲ 23.9%	▲ 22.4%	▲ 16.5%	▲ 22.4%
資金繰り	▲ 18.2%	▲ 4.5%	▲ 16.4%	▲ 12.3%	▲ 15.6%	▲ 9.4%



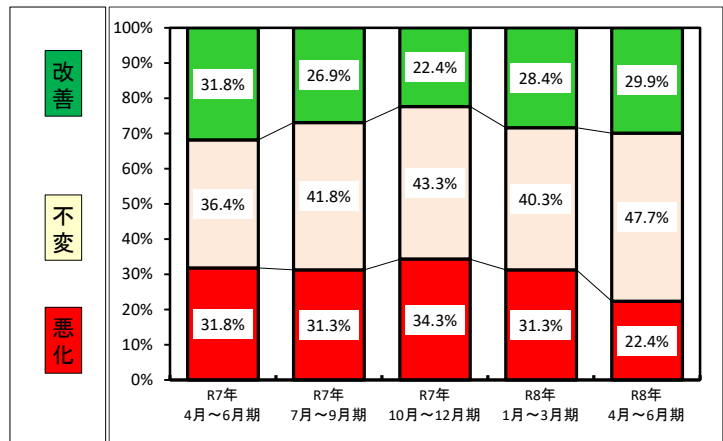
売上 …… 7.5 ポイント
(前期比 10.4 ポイント改善)

仕入単価 …… 77.8 ポイント
(前期比 15.7 ポイント悪化)

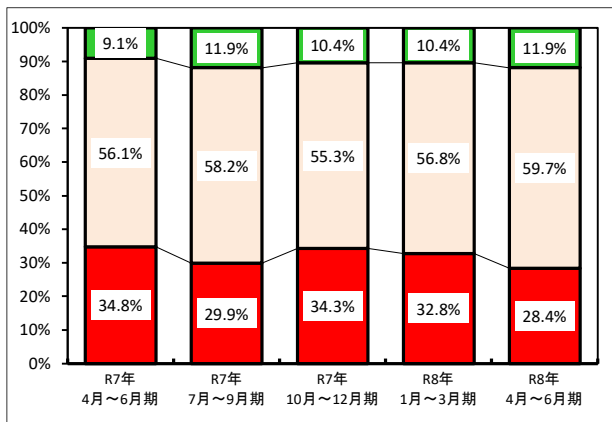
採算 …… ▲ 16.5 ポイント
(前期比 5.9 ポイント改善)

資金繰り …… ▲ 15.6 ポイント
(前期比 3.3 ポイント悪化)

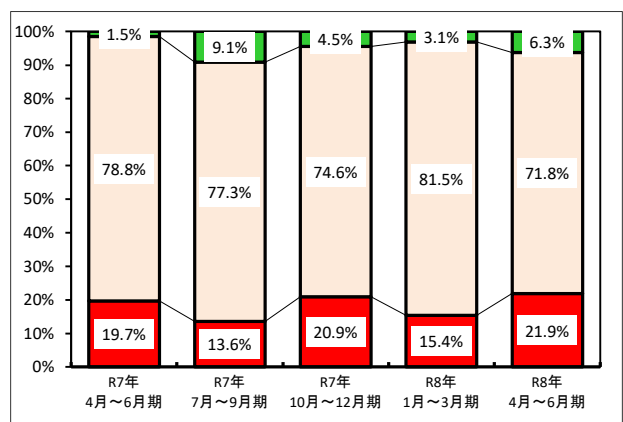
※『売上(収入)』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



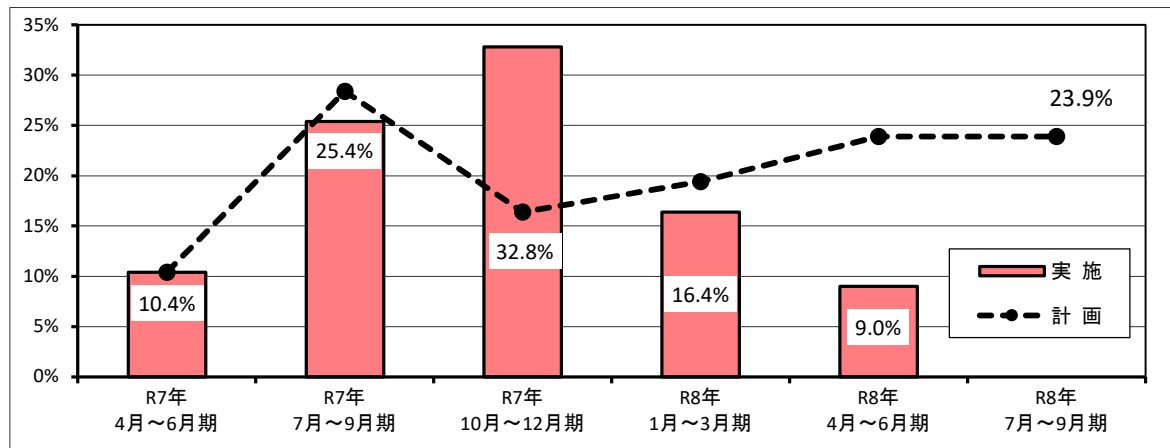
3. 各業種の景況

(4) サービス業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は9%（前期比7.4ポイントの減少）であった。

サービス業	R7年	R7年	R7年	R8年	R8年	(計画) R8年
	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期
土地	14.3%	5.9%	0.0%	0.0%	16.7%	6.3%
車両・運搬具	14.3%	17.6%	27.3%	45.5%	50.0%	18.8%
サービス設備	42.9%	29.4%	31.8%	9.1%	16.7%	43.8%
設備投資の実施	10.4%	25.4%	32.8%	16.4%	9.0%	23.9%

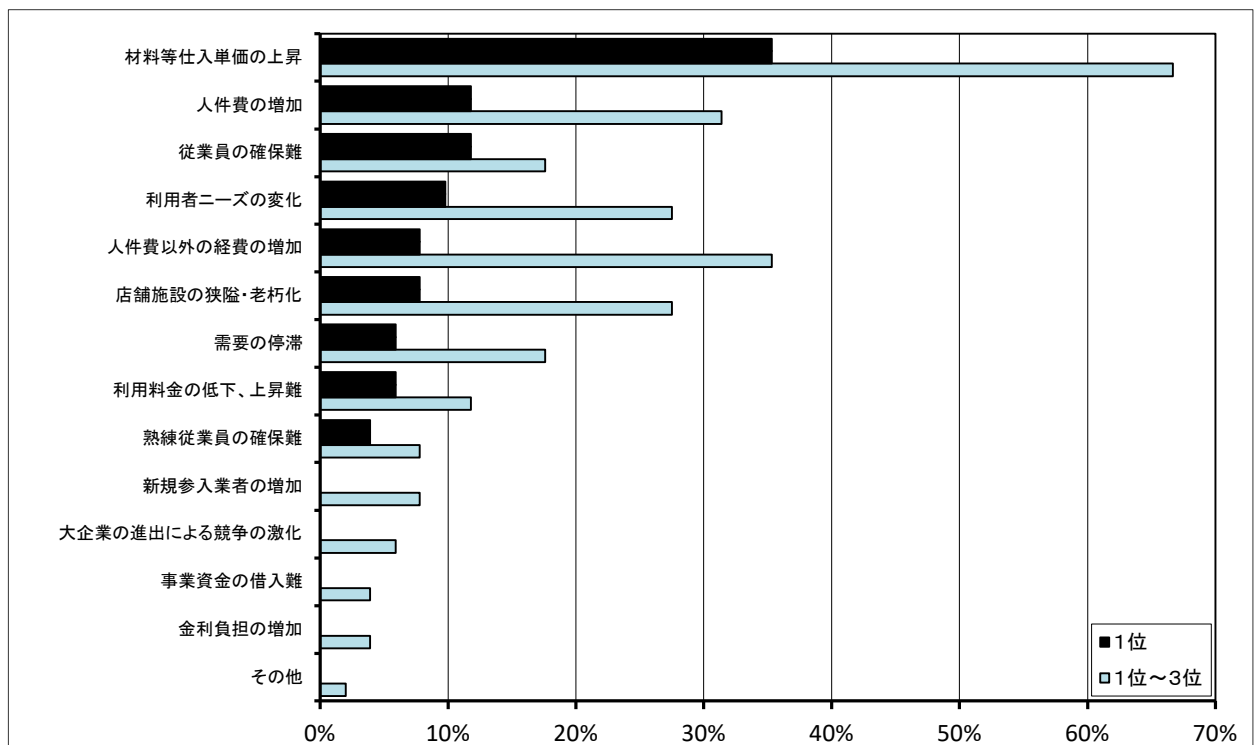


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料等仕入単価の上昇」「人件費の増加」「従業員の確保難」が上位となった。



京都府商工会連合会

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地

京都経済センター 3F311号室

TEL : 075-205-5418

FAX : 075-343-0373

E-mail : office@kyoto-fsci.or.jp